

2020年度ヒトバリアントデータ 研究倫理勉強会

2020年10月17日 土 10:30-12:00

AMED 臨床ゲノム情報統合データベース整備事業では、日本人疾患バリアントデータベース(MGeND: <https://mgend.med.kyoto-u.ac.jp>)を2018年3月に公開し、疾患バリアントデータの登録受付を行っています。溝上班では活動の一環として、臨床ゲノム情報の共有とデータベース構築における ELSIへの対応や倫理関連の諸問題に対してのサポートを行っています。

この度、より多くの方にデータ登録を行っていただけるよう、MGeND 登録方法の紹介や、臨床ゲノム情報の共有等に係る ELSIなどについて情報共有を行う、ヒトバリアントデータ研究倫理勉強会を開催致します。是非ご参加下さい。

プログラム

10:30~10:35

MGeNDの経緯と現状

溝上 雅史 (国立国際医療研究センター)

10:35~10:55

MGeND紹介とデータ登録について

中津井 雅彦、鎌田 真由美 (京都大学大学院医学研究科)

10:55~11:10

ヒトバリアントデータの登録と 利活用に向けたガイダンス

加藤 和人 (大阪大学大学院医学系研究科)

11:10~11:30

難病研究における

ヒトバリアントデータの利活用

小崎 健次郎 (慶應義塾大学医学部)

11:30~12:00

質疑応答・総合討論(パネルディスカッション)

ウェビナー形式(オンラインセミナー)

- 事前に参加登録を頂いた方に当日参加用URLをお知らせします。
- ブラウザから誰でも参加できるシステム(ユーザ登録不要)を使用します。
- パソコン・スマホで全国どこからでもご参加頂けます。

対象

大学・研究機関の倫理審査関係者、
研究者など

参加費

無料

参加登録

下記ページのフォームから
参加登録をお願いします。



※事前参加登録は10月14日(水)17:00まで

www2.med.osaka-u.ac.jp/eth/seminar/20201017-1/